

**取組の名称** 児童会主体の「冬の児童会集会」の取組

12月20日（火）5校時

**取組の概要** 場所：芽登小学校体育館

**【ねらい】**

児童会が主体となった異学年交流を通して、児童同士の絆を深め、全校児童が仲良く・楽しく・いじめのない学校生活を送ることができるようにする。

**【概要】**

全校児童が楽しめる集会を開くという共通の目標の下、各委員会が、活動内容に沿った発表を考え、全員が参加できるゲーム、本の読み聞かせ、健康に関わる劇の発表等を行った。

**【児童の感想】**

計画や準備は大変だったが、楽しんでもらえて嬉しかった。これからも、思いやりの気持ちをもって低学年や友達に優しく接していきたい。



【ものまね大会の様子】



【健康に関わる劇の様子】

**成 果** 児童が主体的に取組を進め、共に遊び、共に学ぶ活動を行ったことにより、他者を思いやる心の育成が図られた。また、協力することの素晴らしさを実感することにより、集団生活の充実に努める態度が育まれ、いじめを未然に防ぐ風土が醸成された。

**取組の名称** 児童会発信の「全校での休み時間の過ごし方」

通年

**取組の概要** 場所：螺湾小学校 5・6年教室・体育館等

**【ねらい】**

児童会が主体となり、全学年で一緒に活動する機会をもち、助け合い、協力しながら楽しむ活動を通して、温かい人間関係を育むとともに、いじめの未然防止に努める。

**【概要】**

児童会役員で、前期及び後期の休み時間の過ごし方について検討した。決まった曜日に、全校遊びや全校で本を読み興味のある本を紹介し合う図書タイム等を設定し、異学年による交流を行うことで、他者の思いを尊重する態度を育むことを目指した。

**【児童の感想】**

下の学年にも配慮をしながら、思いやりの気持ちをもって全校のみんなが楽しめるように活動をする事ができてよかった。



【児童会活動の様子】



【児童会全校遊びの様子】

**成 果** 日常的に異学年と一緒に活動する機会を多く設定するとともに、児童会が全校児童のことを考えて行動することにより、お互いの様子や気持ちを考える児童が増え、いじめを生まない風土を醸成することができた。

**取組の名称** 児童会主体の「全校縦割り遊び」の取組

通年

**取組の概要**

場所：陸別小学校

【ねらい】

全校児童が縦割り遊びにより、他者への理解を深めることを通して、他者を思いやる態度を育み、いじめを生まない風土の醸成を図る。

【概要】

児童会三役が中心となり、休憩時間を使って全校遊びに取り組んだ。全校児童で遊ぶことができる遊びを考えるとともに、縦割り班での活動とすることで、異学年による縦のつながりをつくり、児童同士の絆や結び付きが強くなるようにした。

【児童の感想】

いつもは遊べない他の学年と遊ぶことができ、とても楽しかった。



【遊び方の説明の様子】



【縦割り遊び活動の様子】

**成 果**

異学年で仲よく遊ぶために大切なことについて児童が主体的に考えることにより、他者を思いやる姿が見られるとともに、児童同士の絆の深まりを実感する感想が聞かれるなど、いじめを生まない学校風土の醸成を図ることができた。

**取組の名称** 児童会主体の「グッドボックス」の取組

12月～1月 給食時間

**取組の概要**

場所：帯広小学校放送室

【ねらい】

児童会テーマである「楽しいがあふれ笑顔輝く学校」に向けて、友達の素敵などところを見付ける活動を通して、自己肯定感を高めるとともに、互いに認め合ったりする態度の育成を図る。

【概要】

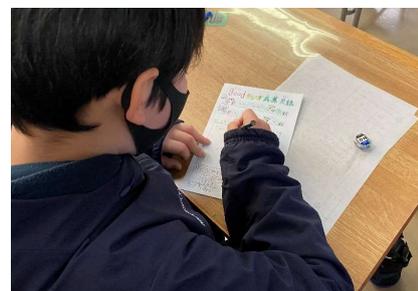
児童会事務局が中心となり、全校児童に友達のよさや素敵などところを「グッドボックス」に投函してもらった。投函された内容を校内放送で知らせ、全校で共有した。

【児童の感想】

自分のよさを見つけてくれて、放送されると嬉しい気持ちになった。



【設置されたグッドボックス】



【友達のよさを見つけ書き込む様子】

**成 果**

取組を通じて、児童が互いのよさや素敵などところに目を向け、友達を認め合おうとする意識が高まるとともに、全校で共有し合うことにより、他学年同士の理解やつながりを深めることができた。

**取組の名称** 小中合同による「いじめ根絶集会」の取組

1月16日(月)6校時

**取組の概要** 場所：西小学校放送室(オンライン)

**【ねらい】**

校区内小・中学校において、児童会及び生徒会の自主的ないじめ根絶に向けた活動を通して、いじめを絶対に許さない態度の育成を図る。

**【概要】**

各小・中学校の取組内容をオンラインにより交流し合った。本校はいじめ根絶に向けたポスターを作成したことを報告し、交流を通して自分たちで啓発を促す取組のよさを実感した。また、地域一丸でいじめ根絶を目指していくことを確認した。

**【児童の感想】**

他校の取組で、西小学校でも実施できそうなものは是非取り入れていきたい。



【いじめ防止を呼び掛けるポスター】



【オンライン全校交流の様子】

**成 果** 小・中学校のいじめ根絶の取組を交流し、校区内でのいじめ根絶の意識が高まった。小中連携した取組により「いじめ根絶」の取組を進めることで、いじめを絶対に許さない態度が養われた。

**取組の名称** 積極的な交流によるいじめ防止の取組

通年

**取組の概要** 場所：柏小学校児童玄関・体育館他

**【ねらい】**

「あいさつ運動」や児童会専門委員会の主体的な取組による全校児童の積極的な交流を通して、他者を尊重する心の育成を図り、いじめの未然防止に努める。

**【概要】**

「あいさつ運動」については、週2回、児童会事務局が中心となり、児童玄関前で元気な挨拶を全校児童に向けて実施し、専門委員会の活動については、保健体育委員会がリレーを企画し、学年ごとに開催した。これらの取組を通して、他者を尊重する心の育成を目指した。

**【児童の感想】**

- ・元気な挨拶により、1日を明るく過ごすことができた。
- ・交流を通して、お互いのよさを知ることができた。



【「あいさつ運動」の様子】



【保健体育委員会企画の様子】

**成 果** 児童会事務局の「あいさつ運動」や各専門委員会の主体的な活動を通して、児童の交流の場が増えるとともに、交流を通じて協働することのよさを実感したり、他者を思いやり優しく接したりする姿が見られ、いじめの未然防止につながった。

**取組の名称** 「いじめ防止ポスター」・「感謝デー」の取組

7月～10月

**取組の概要** 場所：明星小学校

**【ねらい】**

いじめ防止ポスターの作成や感謝の気持ちを伝える活動を通して、良好な人間関係の醸成といじめを絶対に許さない態度の育成を図る。

**【概要】**

児童会代議員のメンバーが中心となり、いじめ防止ポスターを作成し、校内のすべての階に掲示し、具体的ないじめの場面を掲載することで、全校児童のいじめについての理解を深めるとともに、いじめ根絶を呼び掛けた。

また、感謝を伝える手紙と取組内容を示したポスターを廊下に掲示し、普段なかなか言えない感謝を伝える機会をつくった。

**【児童の感想】**

- ・いじめ防止ポスターを目にすることで、辛い思いをする友達が少しでも減ってほしい。
- ・感謝デーの取組を通して、身近な人に感謝を伝えることができた。



【いじめ防止ポスター】

**成 果** ポスターを掲示することで、一人一人が仲よくしようと心掛けるようになった。また、「感謝デー」の取組を通して、友達や先生などに感謝の気持ちを伝える喜びを感じていた。

**取組の名称** 児童会「いじめ根絶宣言」

12月23日（金）2校時

**取組の概要** 場所：緑丘小学校

**【ねらい】**

児童会書記局による「いじめ根絶宣言」の作成を通して、いじめを絶対に見逃さない、許さないという態度の育成を図る。

**【概要】**

児童会が中心となり、「いじめ根絶宣言」を作成し、全校集会の場で発表した。全校児童のいじめ根絶に向けた意識をどのように高めていくのか議論を深め、伝わりやすく、意識しやすい内容とした。

**【児童の感想】**

いじめで苦しんでいる人がいると思うので、今回の「いじめ根絶宣言」によって緑丘小学校からいじめがなくなるといいと思った。

**いじめ根絶宣言**

みんなが楽しい緑丘小学校を目指します！

「友達のことを思いやる3つのキーワード」

- ① いじめは人の笑顔をうばう
- ② いじめられる側の気持ちになって考える
- ③ いじめたら必ず自分に返ってくる

【児童会が考えたいじめ根絶キーワード】



【児童会の話合いの様子】

**成 果** 「いじめ根絶宣言」の3つのキーワードをつくったことにより、全校でいじめを絶対に許さないという目標を共有することができた。また、学級指導において、全校で統一した指導を行うことができた。

**取組の名称** 児童会主体の「遊びデー」の取組

12月13日(火)～21日(水) 休み時間

**取組の概要** 場所：北栄小学校学校体育館

**【ねらい】**

学年の垣根を越えた交流活動を通して、学校の雰囲気  
を温かくし、仲間を思いやる心を育むとともに、いじめ  
を生まない風土の醸成を図る。

**【概要】**

児童会三役が中心となり、全校児童で遊ぶ「遊びデー」  
を実施した。前・後期各1回、異学年が触れ合える楽し  
い遊びやルールを意識した企画を行った。

**【児童の感想】**

いつもはなかなか一緒に遊べない高学年のお兄さん、  
お姉さんと遊べてとても楽しかった。これから他の学年  
の人と仲よく遊びたいと思った。



【開会式の様子】



【遊びデーの様子】

**成 果** 日常、関わりの少ない学年同士と一緒に遊ぶことにより、交流を深め仲よ  
くなるとともに、学校全体が和やかな雰囲気になることにより、いじめを生まない風土の  
醸成につなげることができた。

**取組の名称** いじめ〇に向けた「みんなで自己紹介」

12月13日(火) 6校時

**取組の概要** 場所：光南小学校 1階廊下

**【ねらい】**

全校児童がお互いを知り合い、仲よくなることを通し  
て、いじめを生まない風土の醸成を図る。

**【概要】**

児童会三役が中心となり、全校児童が自己紹介カードを  
作成する「みんなで自己紹介」を実施した。一人一人、得  
意なことや好きなことを言葉と絵を使って表現した。

また、作成した自己紹介カードを1階の廊下の全校児  
童が目につくところに掲示し、読んだ児童がお互いを知  
り合うことができたようにした。

**【児童の感想】**

クラス以外の人を知ることができて楽しかった。  
友達と話しながら見るのが楽しかった。



【1階廊下に掲示している様子】



【自己紹介カード】

**成 果** 普段、話したことがない児童のことを知ることで、児童同士の会話が増え  
るとともに、新しい友達を作るきっかけとすることができ、異なる立場や考えを尊重し  
ようとする姿が見られ、いじめの未然防止につながった。

**取組の名称** 児童会主体の「交流遊び」の取組

12月～2月 休み時間

**取組の概要**

場所：東小学校体育館

**【ねらい】**

異学年が共に身体を動かし、対話することを通じて、多様な価値観を受容し、共につながり合い、創造しようとする態度の育成を図る。

**【概要】**

異学年でしっぽとりや障害物競走などのレクレーションを行った。「全ての人楽しく、気持ちよく過ごせるようにするにはどうしたらよいか」とリーダーが投げかけた後、思いやりの心を児童一人一人が意識し、楽しくゲームに参加した。

**【児童の感想】**

みんなが協力することで団結力が深まった。



【異学年交流活動の様子】



【全校児童が遊ぶ様子】

**成 果**

活動後、委員会活動や中休み・昼休みの活動の際、上級生が下級生を優しくお世話する姿や、下級生が上級生を慕って遊びに誘う姿が多く見られるようになり、共に活動し、対話することで、児童同士の結び付きがより深いものになっている。

**取組の名称** 児童会主体の「言葉のおくり物」の取組

10月～12月

**取組の概要**

場所：啓西小学校各階ラーニング

**【ねらい】**

全校児童が、お互いのよさや感謝の気持ちを伝え合う活動を通して、自己有用感を高め、共感的な人間関係を育む。

**【概要】**

児童会が中心となり、友だちへの感謝の気持ちや、よさを伝えるメッセージをプレゼントする「言葉のおくり物」活動を行った。児童が書いた感謝の手紙を、児童会書記局のメンバーが届け先の児童に届けた。

**【児童の感想】**

メッセージをもらって、自分のよさに気付いたり、嬉しい気持ちになったりした。これからも、相手のよさをたくさん見つけて伝えていきたい。



【「言葉のおくり物」を送る様子】



【「言葉のおくり物」を受け取る様子】

**成 果**

児童会を主体とした「言葉のおくり物」の活動を通して、自分では気が付かなかったよさに気付いたり、思いやりをもって友だち関わったりすることの大切さを感じ、共感的な人間関係を育むことへの意欲を高めることができた。

**取組の名称** 児童会主催の「サンキューボックスとダジャレボックス」の取組

11月1日(火)～1月31日(火)

**取組の概要** 場所：稲田小学校わくわくルーム前

**【ねらい】**

いじめ根絶に向け、校内の児童がお互いのよさを認めたり、温かい雰囲気づくりの大切さに気付いたりすることを通して、児童の気持ちを明るくするとともに、いじめを生まない風土の醸成を図る。

**【概要】**

児童会事務局が中心となり、サンキューボックスとダジャレボックスを設置した。サンキューボックスには相手への感謝の気持ちを、ダジャレボックスには児童が思いついたダジャレを投稿することを全校児童に呼び掛けた。

また、投稿されたものは児童会事務局でまとめ、児童会便りにより全校へ配付・共有し、他者への感謝や多様な価値観について、深く考えさせる。

**【児童の感想】**

誰も知らない何気ない行動や言葉が感謝されたことにより、もっとがんばろうと思った。相手を思いやり、言葉を大切に生活していきたい。



【設置したダジャレボックス】

**成 果** 児童会便りの配付後、感謝の気持ちを伝える内容の投稿数が増えたことから、温かい雰囲気のある学校にしようとする意識の高まりが見られ、いじめを生まない風土の醸成につながった。

**取組の名称** 児童会書記局が主体となった「おなやみボックス」設置の取組

12月12日(月)～12月23日(金)

**取組の概要** 場所：豊成小学校機関庫ホール

**【ねらい】**

児童主体の「おなやみボックス」の設置を通して、悩みのある児童の一助とするとともに、いじめを許さない態度の育成を図る。

**【概要】**

児童会三役及び代表委員会が、悩みを抱えている人がいれば一緒に考え、いじめのない学校にしたいという願いから、「おなやみボックス」を設置した。各学級に取組を周知するとともに、児童が記入した悩みを「おなやみボックス」に投函し、児童会が悩みの解決方法を考え、投函した児童に伝えた。

**【児童の感想】**

いじめのない学校にするために、書記局として、今後も「おなやみボックス」の取組を続けて、相談者の悩みに応えていきたい。



【おなやみボックス】

**成 果** 現在、「おなやみボックス」への投函がないことから、いじめの未然防止につながっている。児童が主体的にいじめに係る悩みと向き合うことで、いじめを絶対に許さない態度の育成が図られた。

**取組の名称** 児童会事務局によるいじめ根絶に向けた取組

**取組の概要** 12月21日(水) 給食時間  
場所: 栄小学校放送室及び各学級

**【ねらい】**

児童会主体で、全校児童がいじめについて考える機会を設定したり、いじめについての理解を促したりすることを通して、いじめを絶対に許さない態度の育成を図る。

**【概要】**

児童会事務局が中心となり、給食時間に、全校児童に普段の言動の見直しを促したり、いじめ根絶を呼び掛けたりする校内放送を行った。また、事務局便りを作成し、相手の気持ちを考えた行動の重要性やいじめの具体的な行為等について、各クラスに伝えた。

**【児童の感想】**

いじめは許されないと考えることができた。友達への接し方や言葉遣いも、もっと丁寧にしていこうと思った。



【呼び掛けを作成する様子】



【全校児童への呼びかけ放送の様子】

**成 果** 児童会事務局児童が真剣に取り組む様子が、校内放送や事務局便りから全校児童に伝わり、児童のいじめについての理解が深まるとともに、いじめは絶対に許さないという意識を学校全体で高めることができた。

**取組の名称** 児童会の「なかよし集会」の取組

**取組の概要** 12月22日(木) 3校時  
場所: 若葉小学校図書室及び各教室

**【ねらい】**

全校児童が仲よくなるために、何をしたらいいか、自分たちができることを考えることを通して、相手を思いやる心の育成を図る。

**【概要】**

児童会三役が中心となり、各学年にテーマを1つ提示し、そのテーマに沿って自分たちは何ができるかを話し合った。テーマについては、困っていることや悲しかったことに関する事前アンケートを基に決定した。最後にGoogle Meetを活用して全学級が発表した。

**【児童の感想】**

実際に困っている人がいたら、助けてあげたいと思った。



【図書室で司会進行している様子】



【各学級の話合いの様子】

**成 果** 各学級の話合いの様子から、他者の気持ちを考えた行動の重要性についての意見が多く挙がり、相手を思いやる心の育成が図られ、いじめ根絶に対する意識の高まりが見られた。

**取組の名称** 児童会主体の自己有用感を高める取組

10月3日(月)～12月23日(金)

**取組の概要** 場所：広陽小学校各教室

**【ねらい】**

児童会を中心とした全校集会や「感謝の気持ちを伝えようキャンペーン」による他者との関わりを通して、自己有用感の高まりを目指す。

**【概要】**

児童会代表委員会が中心となり、Google Meet を活用した全学級参加の集会を行った。内容は低学年でも楽しめる遊びを選び、全学級が交流できるようにした。

また、「感謝の気持ちを伝えようキャンペーン」では、友達に対する感謝の気持ちをカードに書き、書記局がまとめ、廊下に掲示した。

**【児童の感想】**

「〇〇さん、ありがとう。」と自分の名前が書いてあって嬉しかった。私も友達にありがとうと伝えたい。



【全校集会の様子】



【「感謝の気持ちを伝えよう」掲示】

**成 果**

取組を通して、他者を思いやる心や協働することの大切さを実感する児童の姿が見られ、自己有用感を高めることができた。

**取組の名称** 児童会主催 「みんなでなかよく」の取組

11月30日(水)～12月7日(水) 休み時間

**取組の概要** 場所：花園小学校各学級

**【ねらい】**

1人1台端末を活用し、全校児童が同じ取組をすることを通して、協働して活動することのよさや楽しさを実感し、相互理解を図ろうとする態度の育成を図る。

**【概要】**

児童会事務局及び代表委員会で会議を開き、密を避けて全校児童で楽しめる活動として、1人1台端末を活用し、オンライン形式によるクイズ大会に取り組んだ。全学年の児童が楽しめるとともに、協働的に問題解決することができるよう、発達の段階に応じた問題を出題した。

**【児童の感想】**

児童会の方が用意してくれたクイズが面白かった。みんなで答えたことが楽しかった。



【代表委員会での話合いの様子】



【各学級での活動の様子】

**成 果**

本取組を実施することにより、高学年が低学年のことを考えながら活動したり、低学年が高学年に感謝の気持ちをもったりするなど、児童が仲よく活動することのよさを感じ、他者の考えを尊重する姿が見られ、いじめの未然防止につながった。